

# 2022年3月期 決算補足説明資料



# 目次

---

- 1.業績の概況
- 2.財務の状況
- 3.キャッシュ・フローの状況
- 4.営業利益の増減要因
- 5.セグメント別売上高の概況
- 6.主要なセグメント事業の概況
- 7.配当の推移
- 8.業績の見通し（通期）
- 9.会社概要
- 10.当社の取り組み

# 1.業績の概況

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比 増減率
売上高	22,593	<b>23,575</b>	+4.3%
営業利益	1,549	<b>1,478</b>	△4.6%
経常利益	1,866	<b>1,784</b>	△4.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,334	<b>1,288</b>	△3.4%

- ・ 海外向け電磁開閉器の需要回復や排水処理システムの新設案件により売上高が増加。
- ・ 原材料価格の高騰が大きく影響し、営業利益や経常利益が減少。

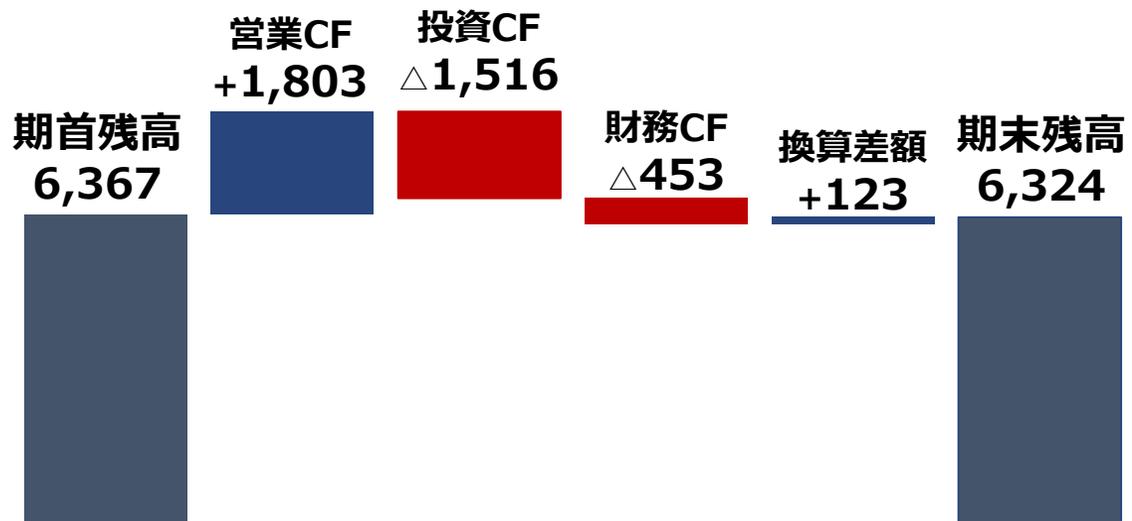
## 2.財務の状況

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	主な増減要因	
流動資産	17,403	<b>17,777</b>	+373	受取手形、売掛金及び契約資産	△192
				原材料及び貯蔵品	+441
固定資産	8,350	<b>9,049</b>	+698	投資有価証券	+476
				保険積立金	+231
資産合計	25,754	<b>26,826</b>	+1,072		
流動負債	5,934	<b>6,111</b>	+177	電子記録債務	+316
				退職給付に係る負債	+49
固定負債	3,158	<b>3,047</b>	△111	預り保証金	△142
負債合計	9,093	<b>9,159</b>	+65		
純資産合計	16,660	<b>17,667</b>	+1,006	利益剰余金	+873
				その他有価証券評価差額金	△22

### 3. キャッシュ・フローの状況

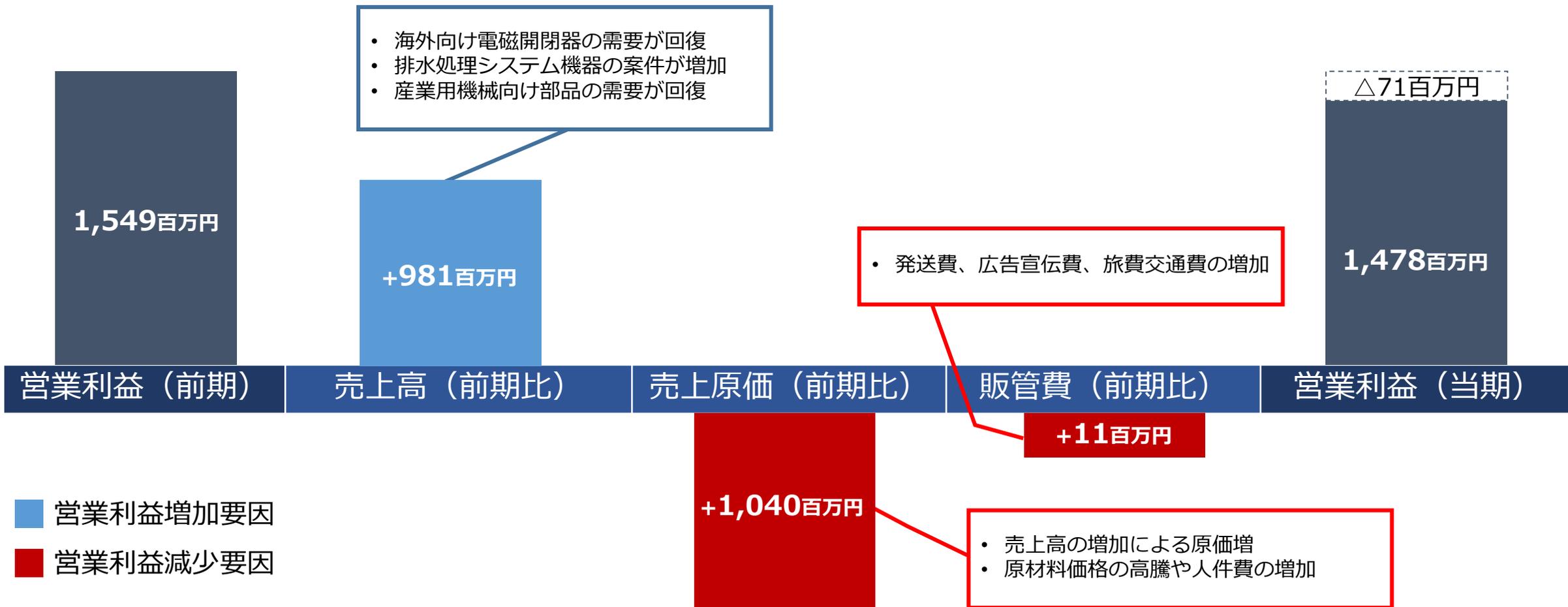
(単位：百万円)



現金及び現金同等物の残高は6,324百万円となり、前期に比べて42百万円減少となった。投資活動の結果使用した資金1,516百万円が主な要因である。

	2020年3月期	2021年3月期	主な増減要因	
営業活動によるCF	1,907	<b>1,803</b>	税金等調整前当期純利益	1,785
			仕入債務の増減額 (△は増加)	354
投資活動によるCF	△585	<b>△1,516</b>	有形固定資産の取得による支出	△742
			投資有価証券の取得による支出	△510
財務活動によるCF	△391	<b>△453</b>	配当金の支払額	△421

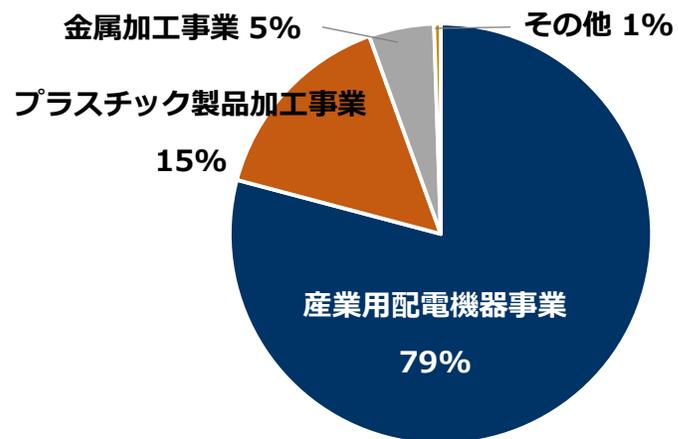
# 4. 営業利益の増減要因



# 5.セグメント別売上高の概況

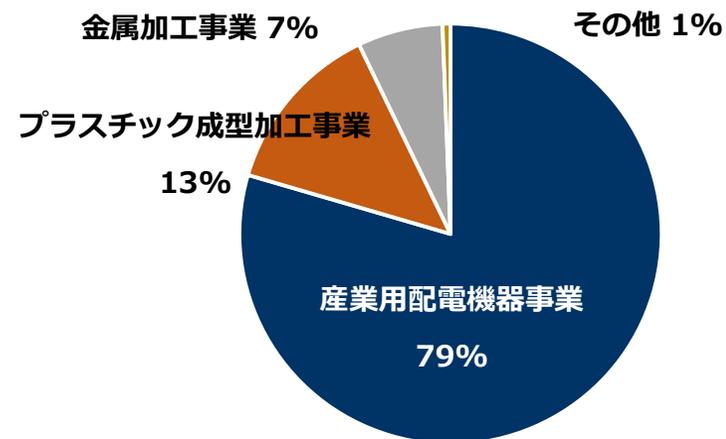
2020年度

セグメント別の売上高構成比

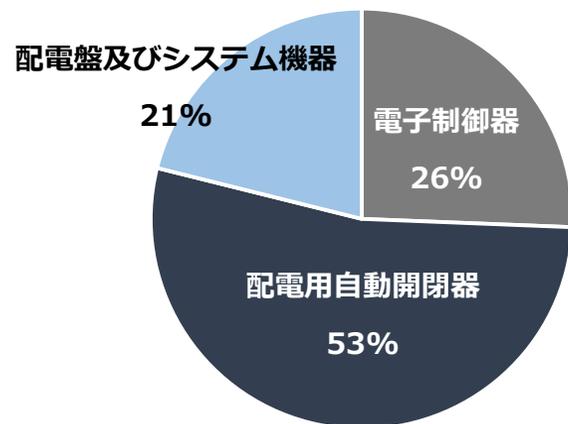


2021年度

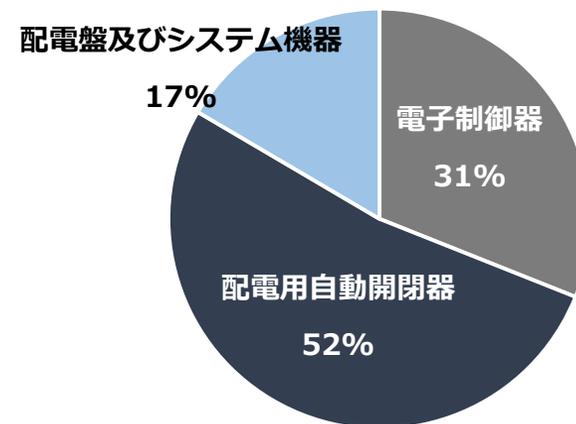
セグメント別の売上高構成比



産業用配電機器事業の売上高構成比

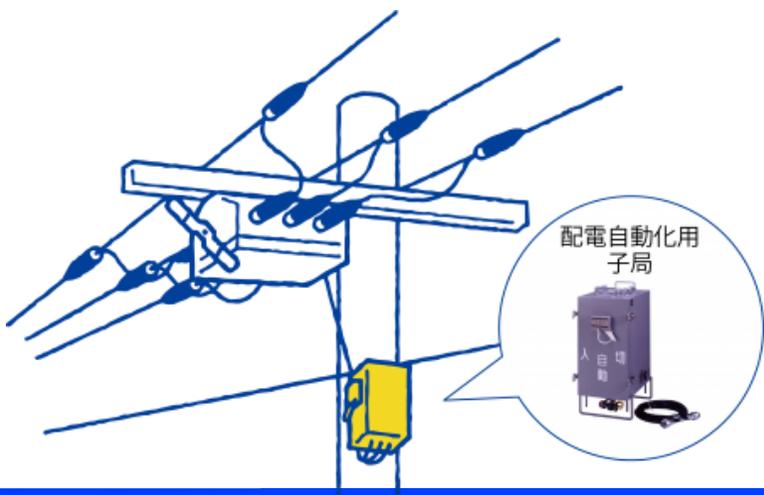
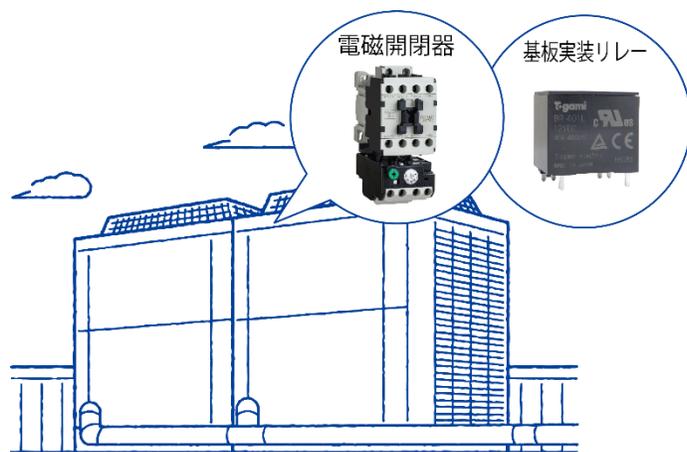


産業用配電機器事業の売上高構成比



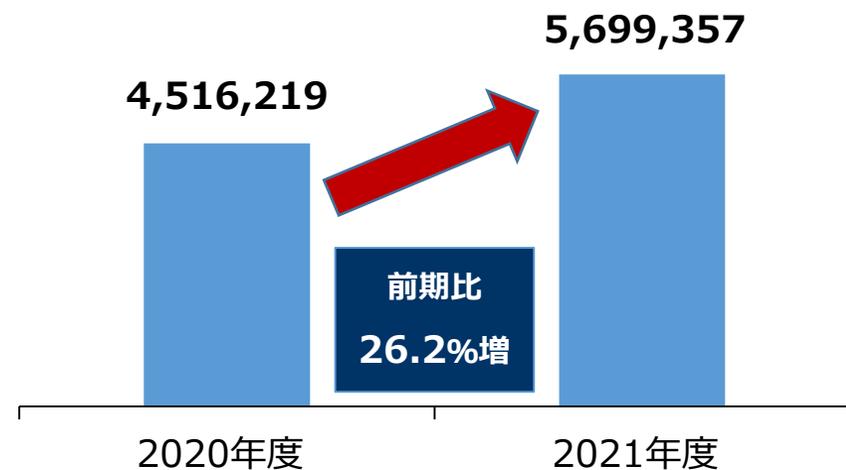
## 6. 主要なセグメント事業の概況

### 産業用配電機器事業（電子制御器）



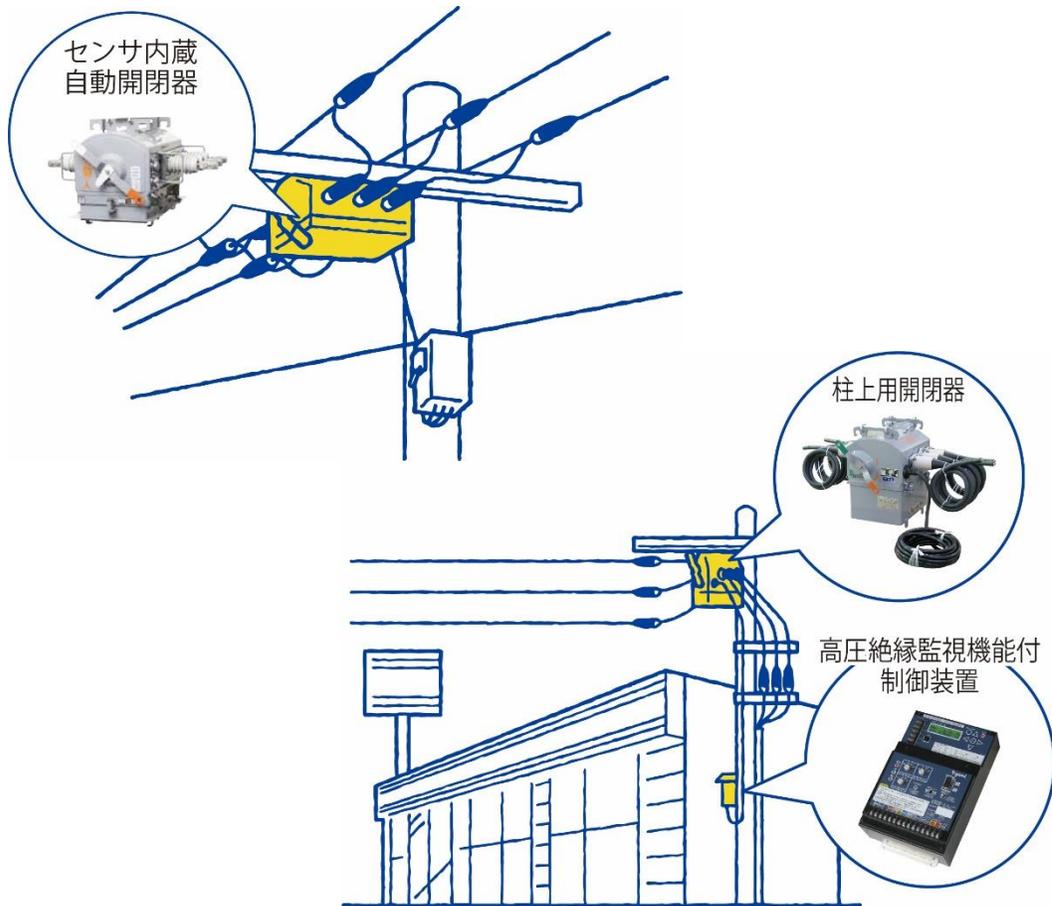
- 電磁開閉器は、新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していた海外向け需要が回復したことにより増収。
- 配電自動化子局は、次世代型への更新需要の拡大により増収。

### 売上高（千円）



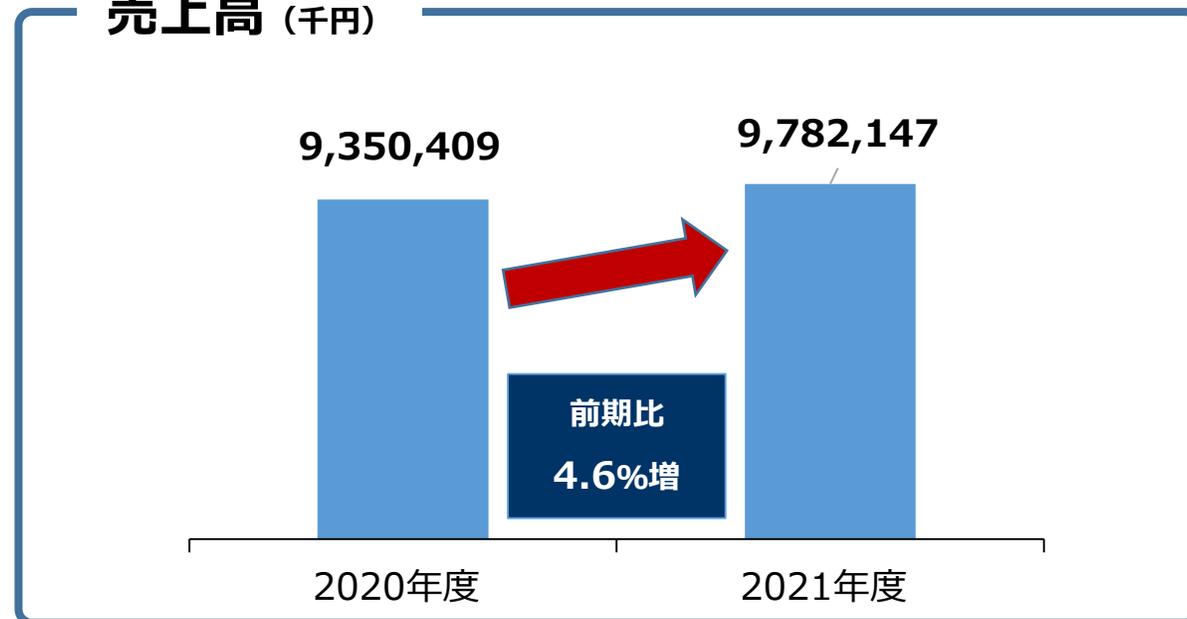
## 6. 主要なセグメント事業の概況

### 産業用配電機器事業（配電用自動開閉器）



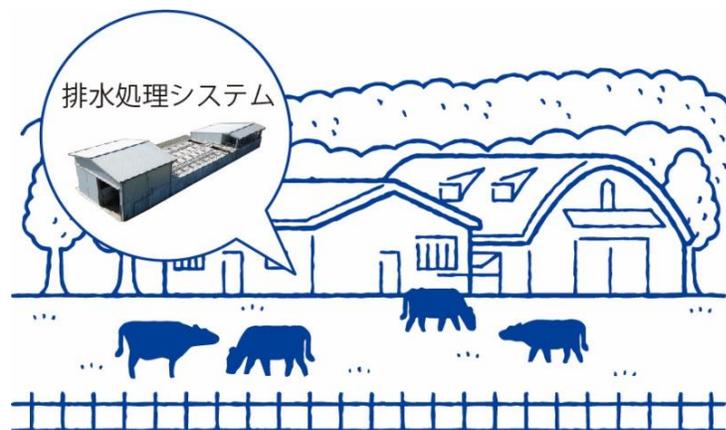
- 柱上用開閉器は、停滞していた工事需要が回復傾向に転じたことから増収。
- 配電用自動開閉器は、需要減少に伴い減収。

### 売上高（千円）



## 6. 主要なセグメント事業の概況

### 産業用配電機器事業（配電盤及びシステム機器）



- システム機器は、排水処理施設の新設案件等の需要により増収。
- 配電盤は、設備更新案件やメンテナンス等の受注が減少したことにより減収。

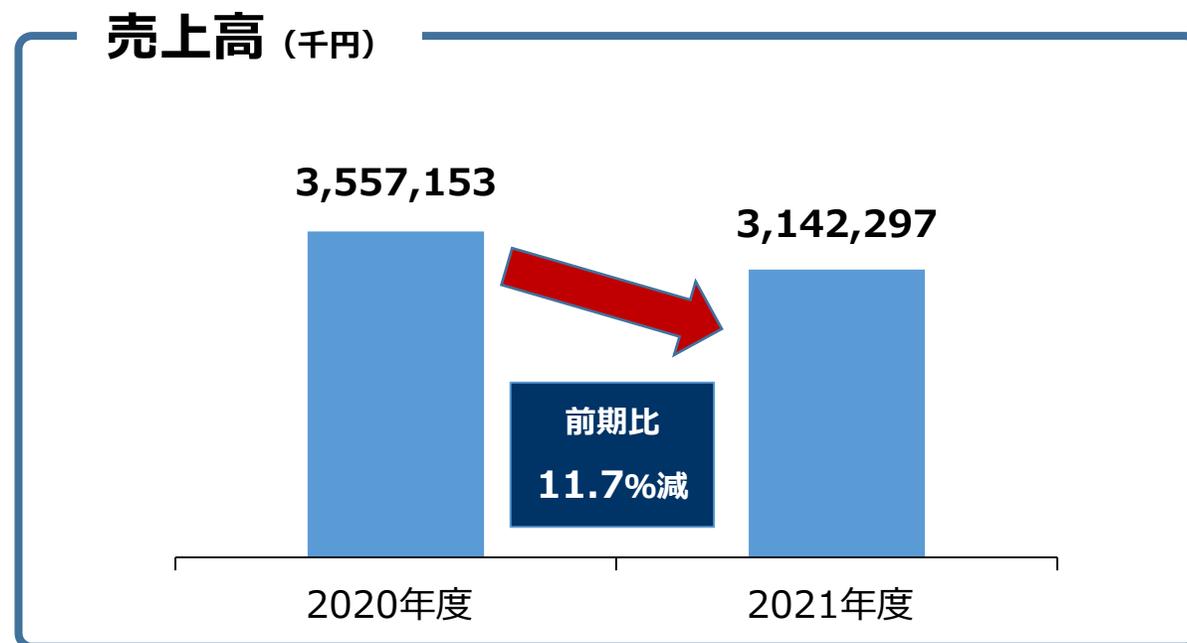
### 売上高（千円）



## 6. 主要なセグメント事業の概況

### プラスチック成形加工事業

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車業界向けの需要が減少したことにより減収。

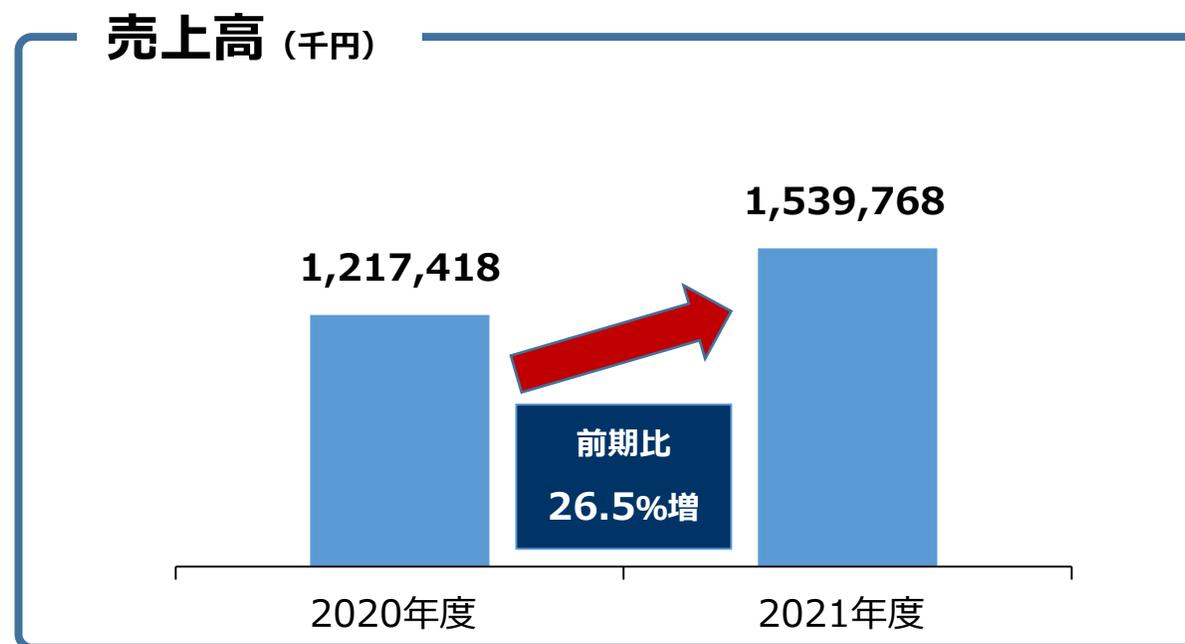


## 6. 主要なセグメント事業の概況

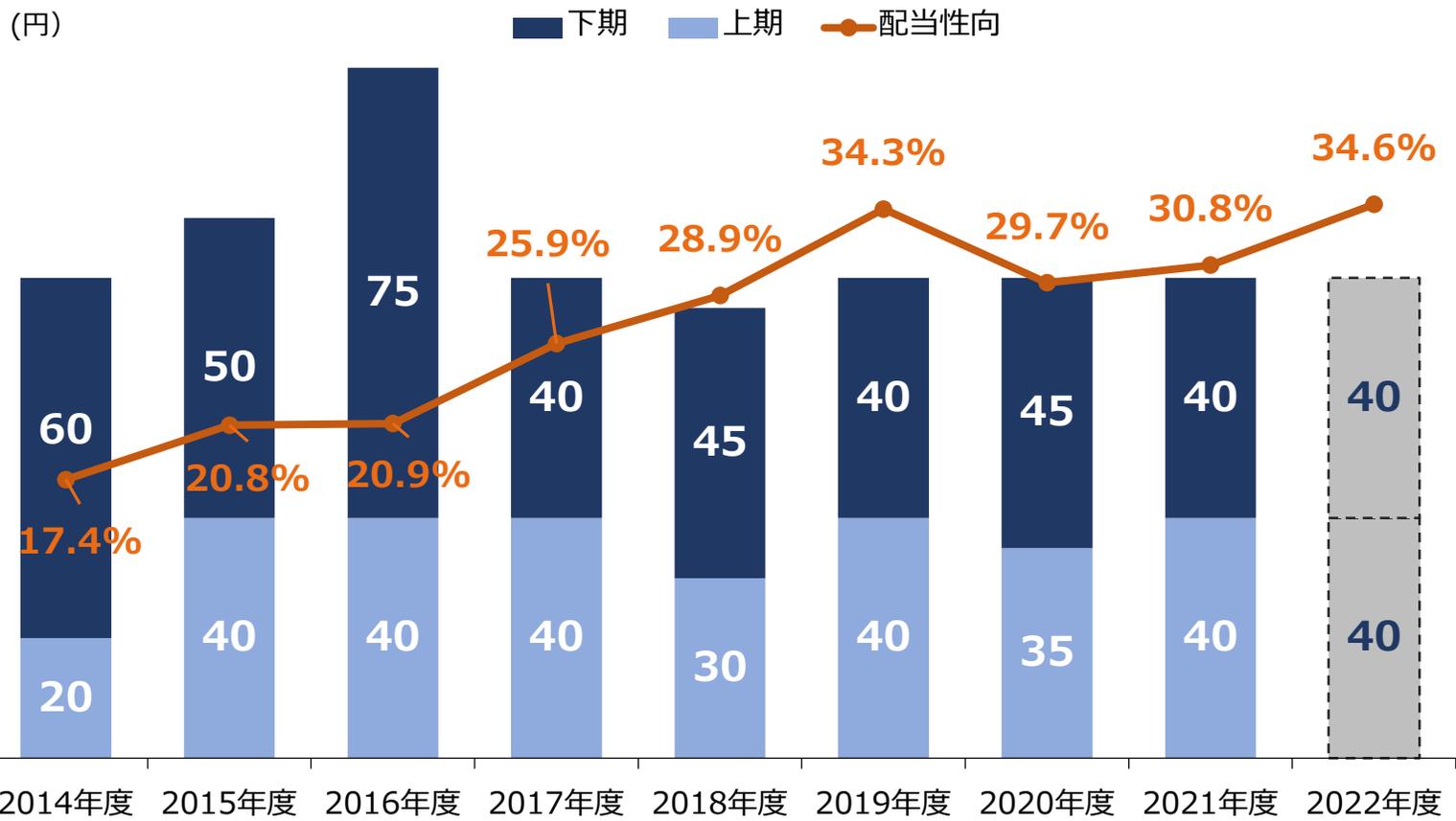
### 金属加工事業



- 新型コロナウイルスの影響で停滞していた産業用機械向け部品の需要が回復したことにより増収。



# 7. 配当の推移



当社は、業績に裏付けされた安定的かつ継続的な配当を実現することが経営上の極めて重要な課題であると認識しております。配当の有無や額については当期及び今後の業績を勘案して総合的に決定することとしております。

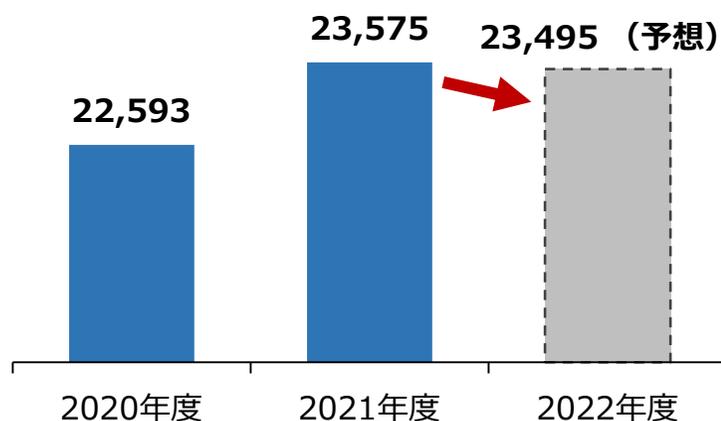
※2017年度に5株から1株への株式併合を行っており、2017年度以前の配当金については株式併合後の基準で換算した金額としております。

## 8.業績の見通し（通期）

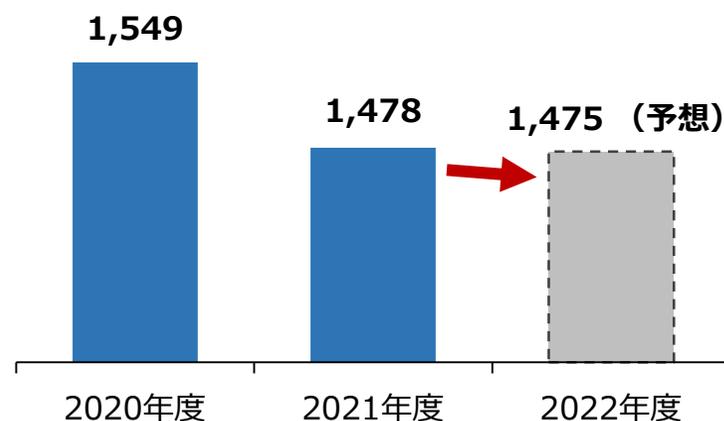
（単位：百万円）

	2021年度	2022年度（予想）	増減（前期比）	増減額（前期比）
売上高	23,575	23,495	△0.3%	△80
営業利益	1,478	1,475	△0.2%	△3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,288	1,145	△11.2%	△143

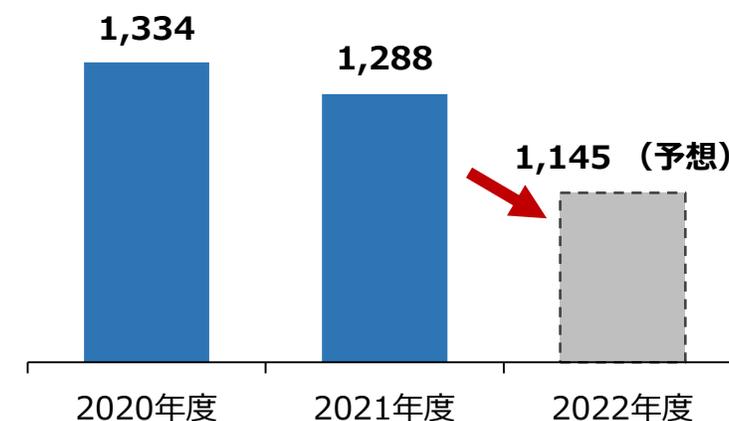
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



## 9.会社概要

商号	株式会社 戸上電機製作所
所在地	佐賀市大財北町1番1号
代表者	代表取締役社長 戸上信一
設立	1925年3月12日
資本金	289,959万円
従業員数	1,084名（連結） 446名（単体）
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード市場）
決算期	3月
証券コード	6643
URL	<a href="https://www.Togami-elec.co.jp/">https://www.Togami-elec.co.jp/</a>



本社 上空写真



本社 社屋

# 10. 当社の取り組み

## 環境関連



浜田メイプル牧場（島根県浜田市）

当社は、1995年に環境事業部を立ち上げ、現在に至るまで酪農現場の排水処理など環境に配慮した事業に取り組んでまいりました。

直近では、酪農現場の排せつ物（ふん尿）の新たな処理システムを開発するなど、事業を通じた環境との調和を目指しております。



TVCM（環境への取り組み篇）

当社の環境への取り組みをイメージしたテレビコマーシャルを放映しております。

実際に環境事業に取り組んでいる従業員が出演しております。当社ホームページにアップしておりますのでご覧ください。



# ご注意

---

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断しており、リスクや不確定要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。事業環境の変化や当社の内部要因により実際の業績が大きく異なる可能性があります。

投資判断については、本資料の業績見通しのみに依拠しないようお願いいたします。